

日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳

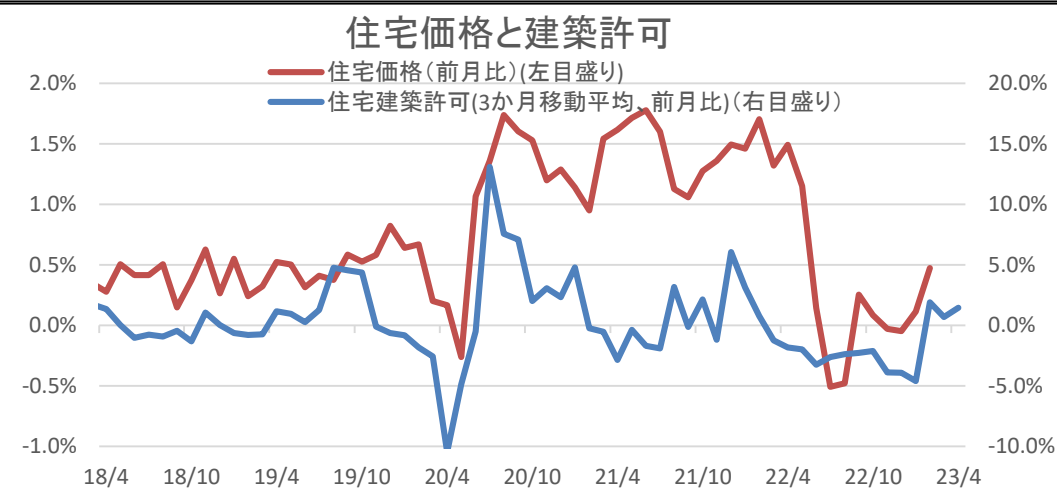
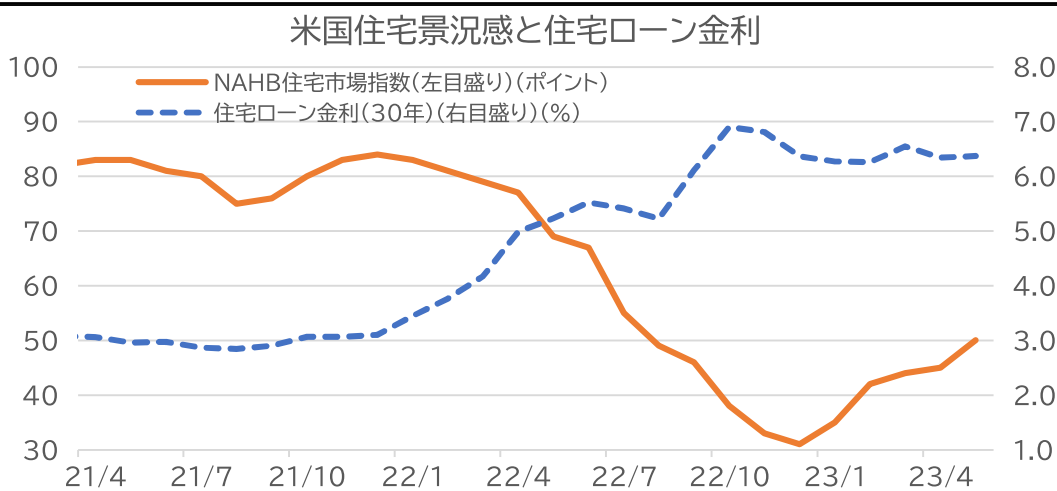
米国経済・住宅関連指標

2023/05/22 第 13 号

朝日田コーポレーション

●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)NAHB、FREDYMAC、米国統計局資料より作成。

米国住宅市場は、回復の兆しを見せ始めている。これまで、利上げに伴い住宅ローン金利が上昇するなかで、住宅市場の景況感は悪化を継続していたが、住宅ローン金利の上昇に一服感がみられ始めるとともに、景況感も上昇基調にある。また、新築住宅の先行指標となる建築許可についても、2022年初めごろから減少基調にあったものの、住宅価格の落ち着きと共に底打ちの兆しを見せ始めている。今後も、米国住宅市場は回復基調が継続すると見込むが、金融システム不安を背景に金融機関の貸出態度が厳格化し、回復を腰折れさせる可能性がある点には注意を要する。